

# 第61回大磯西行祭を開催します

桜の花をこよなく愛し3月末に最期を迎えた西行の遺徳を偲び、また俳諧道の振興を目的として鴨立庵円位堂前にて行います。式典及び事前に献詠された俳句・短歌の表彰、当日参加できる俳句大会・短歌大会を開催します。

## 【開催日】

3月25日(日)

## 【式典】

▼とき 11時～正午

▼場所 鴨立庵

▼雨天時は保健センター

▼内容 献香、献茶、献詠、尺八・一絃琴献奏、献花、献詠

俳句・短歌披露、入選者表彰

## 【俳句大会】

▼受付時間 10時～正午

▼受付場所 鴨立庵

▼席題 当日発表(一人2句まで)

▼表彰 1位～10位

▼表彰会場 保健センター2階

研修室

## 【短歌大会】

▼受付時間 式典終了後12時45分

▼受付・表彰会場 保健センター1階保健指導室

▼席題 自由(一人2首まで)

▼表彰 1位～10位



問 産業観光課 内線334

## 相互利用公共施設が追加されます

近隣市町(平塚市、秦野市、伊勢原市、二宮町、中井町)との広域行政推進協議会では、公共施設の相互利用の協定を結んでいます。協定により、3市2町のスポーツ施設等を、施設のある市町の住民と同じ料金で利用できます。

平成30年4月から、平塚市のスポーツ施設が新たに対象に加わります。

対象施設の詳細は町ホームページ(「町政情報」→「政策」→「広域行政」)でご覧いただけます。

使用料、利用時間、利用方法などは、各施設へお問合せください。

問 政策課 内線205

## みなとまちづくり講演会

### 「大磯の海の魅力について」

▼とき 3月11日(日)

13時30分～15時30分

▼ところ 保健センター2階研修室

▼講演内容及び講師

第一部

「大磯の海」豊かな漁場と港の活性化」

大磯二宮漁業協同組合

代表理事組合長 加藤 孝 氏

第二部

「人と海をつなぐ」海を知り、海を活かす」

横浜国立大学統合的海洋教育・研究センター

特任教員 水井 涼太 氏

▼定員 80人程度

▼参加費 無料

▼申込み 不要

▼その他 ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

問・申 大磯港みなとまちづくり協議会事務局(大磯港港湾管理事務所内)

☎(61)5719



## イノシシ・シカ被害

「餌付け」をやめて野生鳥獣を増やさない・寄せ付けない地域をつくらう

近年、全国的にイノシシやシカの被害が広がっています。大磯町でも被害がでており、昨年度は、町全体で年間214頭ものイノシシを駆除しましたが、被害はなくなりません。他県では、効果的な対策を地域ぐるみで進めたことで被害を克服した地域があります。その地域では、大々的に「駆除」を進めたわけではなく、徹底的に「餌付け」をやめたことで、被害を克服しました(左図)。町では、平成27年度より鳥獣害対策講習会を実施し、被害を克服した地域を指導した専門家



放棄されたクリを食べるイノシシ(町内)

問 産業観光課 内線262

### ■被害がなくなるのはなぜ？

\*人間が「餌付け」をして野生鳥獣を寄せ付け、増やしているからです！

町内の環境は、人間が「えさ」と「ひそみ場」を作り、「餌付け」をしているのと同じ状況になっています。

#### 【えさ】

- ・放棄された果樹(カキ、クリ、ピワ等)
- ・農作物の残さなど



#### 【ひそみ場】

- ・荒れた田畑
- ・手入れされていない森林、竹やぶ、庭木

### ■では、どうしたら被害が減るの？

\*地域みんなで「えさ」と「ひそみ場」をなくす！  
\*「駆除」は、「餌付け」をやめてから！

通常イノシシは1年に5～6頭出産し、そのうち1～2頭が生き残ります。しかし、えさが豊富だと生き残る頭数が増え、その状況で駆除しても減らすことは困難です。対策は順番が大切です！

#### 【効果のある対策の順番】

- ★一番：地域みんなで勉強
- ★二番：田畑や地域を「餌付け」のおきない環境に改善
- ★三番：田畑を柵などで囲う
- ★四番：駆除は最後に！！